

福井市議会議員 浦上はやと 議会報告

Uragami Hayato
NEWS
vol.8

みなさん、こんにちは！
浦上はやと
福井市議会議員の浦上逸人です。

12月から1月にかけて、市では来年度の予算を作る編成作業や除雪業務などが行われます。いずれも市民生活に密着した分野であることもあり、12月議会の一般質問で取り上げました。また、その他にも市民の方々からの指摘をベースに、「財政」「産業振興」「業務改善の取組」などについて質問しました。

浦上はやと議会報告 vol.8では、12月定例会などの議会活動について、ご報告します。



特集 姉妹友好都市とは？

福井市は様々な都市と連携や交流を行っていますが、歴史的な経緯から文化交流や親善を目的として**海外5都市**と**国内2都市**(熊本市(熊本県)、結城市(茨城県))と**姉妹友好都市**を提携しています。

海外5都市

都市名	国旗	人口	提携年	提携の契機
ニューブランズウィック市 (アメリカ)		6万人	昭和57年	ラトガース大学のグリフィスが藩校「明新館」で教鞭
フラトン市 (アメリカ)		14万人	平成元年	ロータリークラブ間の交流
杭州市 (中国)		1,220万人	平成元年	文豪魯迅と福井出身の師・藤野厳九郎との関係
水原市 (韓国)		123万人	平成13年	青年会議所間の交流
クラン市 (スロベニア)		6万人	令和7年	東京2020オリンピックのホストタウン

姉妹都市交流活動は、市民による草の根レベルでの相互交流を通じて、市民同士の国際的な信頼関係を築いていくものです。国外との姉妹都市交流を土台として、中高生の相互都市訪問などの交流が図られています。また、各都市の外国の姉妹都市の交流は、国同士の外交の基礎となっています。今後も姉妹都市交流が、地域振興や未来人材育成策として当市に活かされていくように注視していきます。

ジュニア大使派遣事業

毎年、福井市在住の中学1～2年生を公募し、1週間程度、姉妹都市に派遣しています。(ホームステイ、学校訪問、市内視察など)

クラン市との交流

今年度の9月に提携したクラン市とは、両都市の小中高校どうしの交流事業などを行っています。



▲協定式(R7.9月)



▲公民館でのスロベニア勉強会(R7.10月)



▲交流推進イベント(R7.3月)

フラトン市への 交流訪問(R7.11月)

市議団、市長、市民団がフラトン市を訪問し、今後のさらなる関係発展を誓いました。



▲市庁舎での式典



▲大学生との文化交流



▲大学訪問 カルフォルニア州立フラトン校

中面には浦上はやとが市議会で質問・提案した内容を掲載しています



浦上はやと 日々の活動

【令和7年 10月～12月】

市民の方々から連絡をいただいた道路の損傷などについて、補修・改修を要望しました



▲陥没の補修



▲道路のひび割れ補修



▲路面の更新

毎朝の『見守り活動』や『清掃活動』の他、地域行事などに参加し、市民の方からの意見・要望などをヒヤリングしています！



▲自治会秋祭り



▲運動会



▲神社秋祭り



▲地区間交流会



▲公民館祭り



▲資源回収



▲公園清掃



▲グランドゴルフ大会

「前向きに、丁寧に、謙虚に」をモットーに、ひとつひとつ着実に行動してまいります。
引き続き皆様からの声をお聞かせください。日々の活動は、FBなどのSNSをご覧ください！

浦上はやと事務所

〒910-0022 福井市花月5-1-42



☎ 090-9447-2951

✉ info@uragamihayato.com



浦上はやと



公式ホームページ

浦上はやと プロフィール

- 1975年生まれ 福井市花月在住
- 京都府立大学大学院 農学研究科 修了(農学修士)
- キンビール株式会社
- 福井市役所〔農政企画課→マーケット戦略室(現:商工振興課)→東京事務所〕
- 早稲田大学大学院 政治学研究科 修了(公共経営修士(専門職))
※地方行政実務学会に所属し、行政学・地方自治について実践的に研究
- 家族/妻と娘2人
- 趣味/マラソン(フルマラソンで3時間切り「サブ3」を3度達成)
スポーツ観戦、読書、DIY



議会では、市民の方々から伺ってきた話を基本とし、全国の自治体の政策を調査研究した上で、『市民目線に立ち、実現して欲しい事』や『中長期的に取り組んでもらいたいこと』などを質問・提案してまいります！

12月・定例会 一般質問



1. 財政について

問題意識 予算は、市民生活に深く関わっています。収入をしっかりと確保し、市民目線に立った経営感覚とコスト意識をもった財政運営を！

(1) 実質公債費比率

実質公債費比率とは？

地方債の元利償還金（借金返済）の大きさを示したものの、財政健全化法で報告が義務付けられている財政の重要な指数。福井市は「10.4%」であり、中核市62市の中でワースト3位（中核市の平均「5.5%」）

Q: 当市の実質公債費比率の、現状の分析と今後の見通しは？

A: (財政部長) 給食センターなど、生活基盤に密着した施設を整備してきた。今後もインフラ整備による市債残高の上昇が見込まれるため、実質公債費比率に留意していきたい。

Q: 実質公債費比率を「10%未満」にすることを目標とし、計画などに明記すべきでは？

A: (財政部長) 施設整備が必要な現状を鑑みると、目標値の設定については慎重な判断を要する。

(2) 収入の確保

① 遺贈寄付

遺贈寄付とは？

自分の死後、財産を特定の団体（自治体や大学など）に寄付すること。

Q: 近年の寄付の実績は？

(ふるさと納税やクラウドファンディング以外)

A: (財政部長) 現金（R6は約1,600万円）、株式、図書など様々な形の寄付を頂いている。

Q: 遺贈寄付について取り組むべきでは？

A: (福祉健康部長) 今年度、遺贈寄付に取り組んでいる自治体を視察した。今後も他都市の事例や専門家の意見などを聞き、遺贈寄付について研究していく。

👉 今後に注目！

② 入館料、利用料等の見直し

Q: 美術館、博物館、動物園について、入館料、利用料など額の見直しを図るべきでは？

A: (副市長) 動物園は入場無料であるが、餌やり体験などを有料にしており、その収益で餌代をまかなえている。美術館、博物館とも適切な料金を設定しており、企画展などは経費等を考慮し料金を設定している。今後も、料金について検討、見直しを図っていく。

Q: それぞれの施設で、資金調達に取り組むべきでは？

A: (副市長) 自然史博物館ではネーミングライツ契約、郷土歴史博物館や養浩館ではクラウドファンディングなどを実施してきた。国や県の助成金の獲得や、マスコミに参加してもらう実行委員会を立ち上げることで広告宣伝費を抑制するなど、各施設で工夫を行っている。今後も、利用者が増えるよう工夫を凝らし、資金調達を行っていく。



2. 産業振興について

問題意識 北陸新幹線の延伸開業の効果を高め、本市の経済を持続的なものとしていくには、外国人の雇用・就労や観光地への案内看板などについて、市が主体的に取り組む必要がある！

(1) 外国人の雇用、就労支援

Q: 本市の『農林水産業』の外国人の雇用の実態や支援は？

A: (農林水産部長) 本市では現在、農業で25名、水産業では13名の外国人が働いている。（市の支援策を立案するために）外国人雇用に関する事業者の実態やニーズの把握に努めていく。

Q: 本市の『商工業』の外国人の雇用、就労支援は？

A: (商工労働部長) 福井市周辺（ハローワーク福井管内）の外国人労働者数は4,975名で、近年増加傾向にある。市では、外国人労務セミナーを開催し、外国人材の確保と定着や職場環境作りなどについての啓発を行い、外国人雇用についての理解を深めている。今後も、外国人の雇用促進と定着に取り組んでいく。

(2) 観光施設の案内看板

Q: 福井駅から養浩館までの案内看板を設置すべきでは？

A: (商工労働部長) 現在、養浩館の保存・活用計画の改定を進めている。有識者などから意見を伺い、景観を踏まえた案内看板の設置について検討していく。

👉 今後に注目！



Q: 本市の観光施設では、修繕が必要な案内看板が多い。今後の修繕の計画は？

A: (商工労働部長) 優先度を踏まえ、随時対応している。観光客の視点に立ち、施設の維持管理に努めていく。

3. 業務改善の取組について

問題意識 市民サービスを向上させていくためには、市役所内の業務改善が必要！

(1) 除雪業務

Q: 除雪基地への、録音対応の電話の導入状況は？

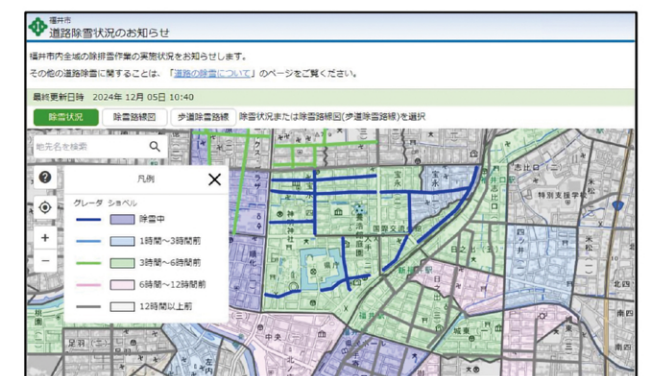
A: (建設部長) 提案を受け、今年より、除雪本部や各基地などに計15台の録音対応の電話を導入する。効果を検証し、市民サービス向上に繋げていきたい。

👉 提案が実現！

Q: 除雪状況のサイトについて、除雪車の稼働状況が正しく把握が出来る内容に改善されたのか？

A: (建設部長) ホームページ上に、注意書きを掲載した。→【要望】より分かりやすい表示となるよう改良が必要

👉 今後に注目！



(2) 税務分野の連携

Q: 税務分野において、兼務辞令を出して業務連携する取組を進めてはどうか？

A: (財政部長) 部局長の業務命令による連携を実施しているが、兼務辞令については慎重な判断が必要。今後も他市の事例を調査、研究していく。